

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先： report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年2月17日

派遣決定番号 [REDACTED]

報告回次 5日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	砥部町教育委員会			代表者名	大江 章吾
担当者部署	学校教育課			連絡先電話番号	089-962-4820
担当者役職	主事	担当者氏名	坪内 舜	連絡先E-mail	
住所	791-2120 愛媛県砥部町宮内1369番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大辻 雄介
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのように ころがよかったです か等詳細に)	遠隔授業について、わかりやすい講演会をしていただいた。 先生方の教え方の工夫がひつようになることや予測できるトラブルの情報などが認識できた点。
アドバイザー への要望事項	資料の提供

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年2月10日	支援・助言	有	令和5年2月3日	540
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年2月10日	講演	15時30分	16時30分	0
活動時間（分）					60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	○掲載可
------	------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	教育委員会職員、教職員	24 人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	令和5年度中に遠隔授業を開始するに当たって、実際に授業を行う教職員がへ意識付けをする必要がある。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	学校で遠隔授業を行っていただく教職員に注意点等を伝え、実施する当事者意識を持たせる。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	遠隔授業実施時の事前準備や進行、注意点等を挙げていただいた。 また、教職員からの疑問点等に回答していただいた。
支援を受け改善又は解決された内容	授業実施について、注意点等の意識共有が図れた。 また、教材使用の方法など教職員の疑問が解消された。

(具体的にご記入下さい)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	講演を聞く中で、システム障害時の連絡手段や授業構成等、これまでに想定をしていなかった問題点が発生した。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業について、詳細を校長と相談した後、正式に通知するためアンケート等は行っていない。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	令和5年度に備品等を配備し、遠隔授業を試行する。 試行後の意見等を取り入れ、令和7年度には事業の定着をする。

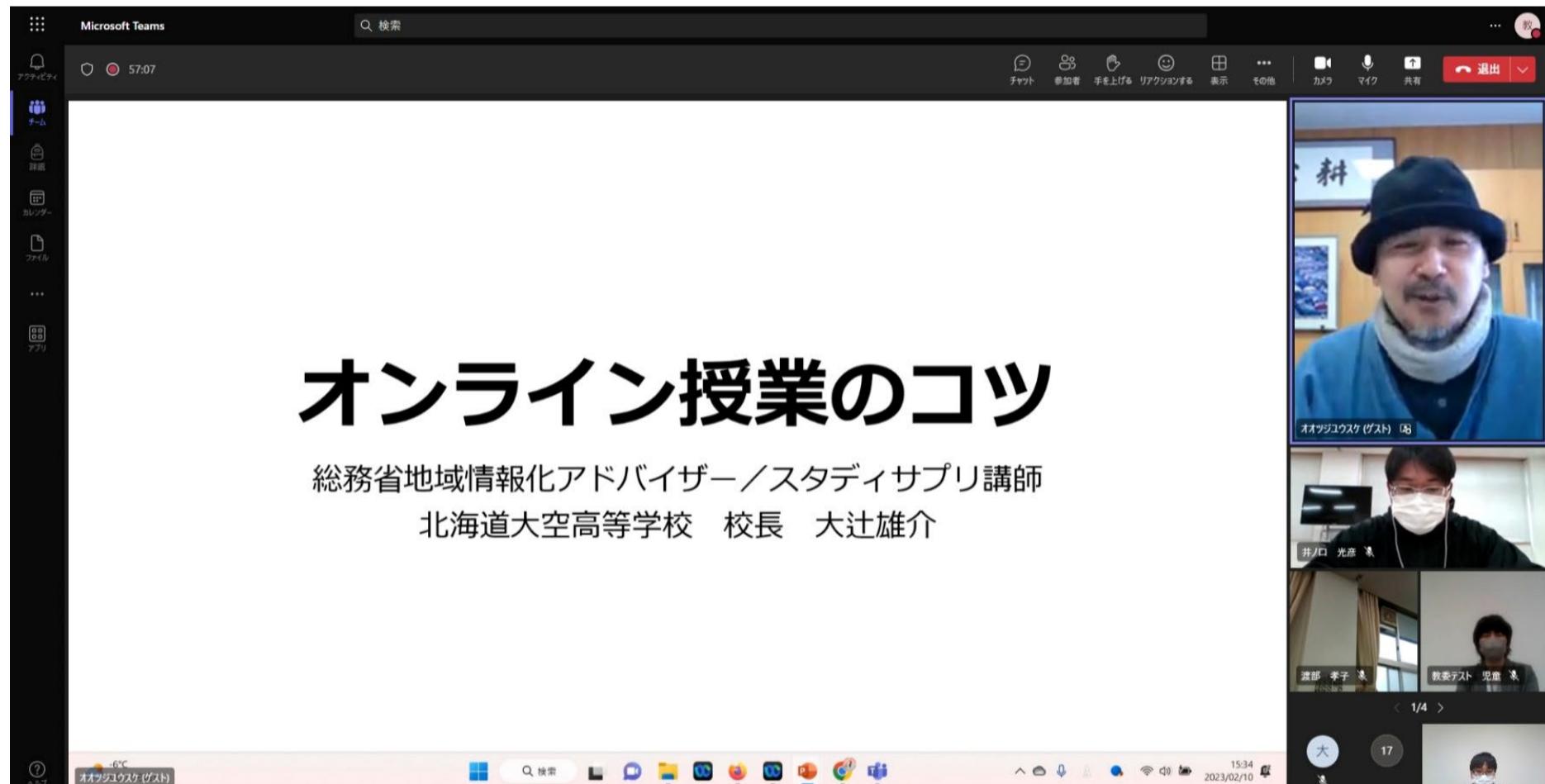
未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。

なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



①指示や問い合わせ

- ・「36ページ問3を解いてください」と1回発話しただけでは、届いていないことがある。
- ・対面の生徒は「これから指示が始まるな」という無意識の準備が出来ているが、**オンライン**の生徒にとって**音声情報**がすべて（**感知**）が出来てない）。
- ・2回以上、指示を繰り返す。あるいは黒板に書く。
- ・指示に対して質問が来たときは、質問も交えた回答をする。

